

- 問1 1858年の日米修好通商条約締結後、幕末の日本における輸入統計をみると、1865年には特定の国が輸入相手国の約83パーセントという圧倒的なシェアを占めていました。その国名と、当時その国から大量に輸入され、輸入総額の急増を招いた主な品目の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. イギリス、綿織物 2. アメリカ合衆国、生糸 3. フランス、茶 4. 中国（清）、毛織物
- 問2 1860年代後半、薩摩藩や長州藩が武力による倒幕を目指す動きを強める中で、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が行った、約260年続いた江戸幕府を終わらせる契機となった行動はどれですか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 藩を廃止して県を置く廃藩置県を宣言した。 2. 土地と人民を天皇に返す版籍奉還を求めた。 3. 政権を天皇に返上する大政奉還を行った。 4. 朝廷と幕府が協力する公武合体を推進した。
- 問3 幕末の動乱期における吉田松陰の活動と影響について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 異国船打払令などの幕府の对外政策を批判したことで、蛭社の獄において処罰された。 2. 薩摩藩と長州藩の間を仲介して薩長同盟を結ばせ、政権交代に向けた動きを支援した。 3. 長州藩で松下村塾を開き、後の明治維新で活躍する多くの人材を育てたが、安政の大獄で捕らえられて処分された。 4. 大坂町奉行所の元与力として貧しい人々を救うために挙兵したが、幕府軍によって鎮圧された。
- 問4 1860年代の日本において、長州藩が関門海峡を通る外国船を砲撃したことへの報復として、イギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国が艦隊を派遣し、下関の砲台を破壊・占領した出来事を何といいますか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 薩英戦争 2. 四国連合艦隊下関砲撃事件 3. ノルマントン号事件 4. 生麦事件
- 問5 1858年に、朝廷の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、さらに自身の政策に反対する大名や武士たちを「安政の大獄」で厳しく弾圧した大老が、1860年に江戸城の門外で暗殺された事件を何といいますか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 禁門の変 2. 桜田門外の変 3. 生麦事件 4. 蛭社の獄
- 問6 19世紀前半、日本の对外政策を批判した知識人の動きとその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 漂流民の保護という目的を持った非武装の外国船を攻撃した幕府の対応を、世界の情勢を知る蘭学者が批判した。 2. イギリスの軍艦が長崎に侵入したフェートン号事件をきっかけに、幕府は攘夷の徹底を主張する武士たちを弾圧した。 3. 鎖国の継続を主張する保守的な幕臣たちが、異国船打払令の廃止を求めて立ち上がった。 4. オランダ国王による開国の勧告を拒否した幕府に対し、通商の重要性を説く商人たちが全国的な一揆を起こした。
- 問7 幕末の政治において、朝廷から正式な許可（勅許）を得ることなく日米修好通商条約に調印し、その後に幕府を批判する反対勢力を厳しく処罰する「安政の大獄」を断行した江戸幕府の役職と人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 大老・井伊直弼 2. 軍艦奉行・勝海舟 3. 薩摩藩主・島津斉彬 4. 将軍・徳川慶喜
- 問8 19世紀、イギリスは清との貿易における銀の流出と赤字を解消するため、インドを含めた「三角貿易」の仕組みを構築しました。この貿易において、インドから清へ輸出された品物はどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 茶 2. 綿織物 3. アヘン 4. 香辛料
- 問9 イギリスで始まった産業革命では、新しい動力源の普及によって社会の仕組みが劇的に変化しました。この変革の背景にある動きと、その動力を備えたペリーの黒船が当時の日本に与えた歴史的背景の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. 石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されたことで、天候や自然環境に左右されない大規模な工業生産や交通機関の発達が可能になった。 2. 石油を燃料とするディーゼルエンジンが開発されたことで、大型の鉄鋼船による世界一周の定期航路が確立され、貿易が自由化された。 3. 風力を利用する高度な帆走技術が確立されたことで、イギリスは世界中の海を制し、日本に対しても開国を迫る軍勢力を保持した。 4. 電気を動力源とするモーターが発明されたことで、工場に電力が供給され、従来の石炭利用による大気汚染問題が完全に解決された。
- 問10 1858年に日米修好通商条約が締結され、函館・横浜・長崎などの開港が行われましたが、これに反対する尊王攘夷派の動きが激しくなりました。こうした中で、勅許を得ずに条約に調印した大老の井伊直弼が、水戸藩の元藩士らに暗殺された事件を何といいますか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 生麦事件 2. 池田屋事件 3. 禁門の変 4. 桜田門外の変
- 問11 幕末に来航したペリーは、日本側に将軍への贈り物として電信機などを贈りました。このとき寄贈された電信機と同じ仕組み（モールス式）を用いた電信線が、明治維新後の1869年に日本で初めて開通した区間はどこですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 東京と横浜の間 2. 横浜と神戸の間 3. 長崎と上海の間 4. 東京と京都の間
- 問12 江戸幕府が結んだ日米修好通商条約が、なぜ「不平等条約」と呼ばれるのか、その制度上の理由を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 日本が輸出品に対して自由に高い税率をかけ、アメリカの利益を損なう仕組みだったから。 2. 日本側がアメリカに対して、一方的に最恵国待遇を与えることが定められていたから。 3. 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。 4. アメリカの軍艦が日本の沿岸を自由に測量し、軍事基地を建設する権利を認めていたから。
- 問13 幕末の開国について描いた劇の台詞において、「1854年にアメリカと結んだ最初の条約によって、ようやく2つの港が開かれることになった」という説明があります。この条約の内容として正しいものはどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 下田と箱館の2港を開き、アメリカ船に薪水や食料を供給することを取り決めた。 2. 領事裁判権（治外法権）を認め、日本側の関税自主権がないという不平等な条項が含まれた。 3. ハリスの要求により、長崎や横浜などの5港を開いてアメリカとの貿易を開始した。 4. それまで制限されていた清との貿易を、長崎以外の港でも対等に行うことを認めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 イギリス、綿織物	幕末の開国後、日本は欧米諸国と通商条約を締結して貿易を開始しましたが、最大の貿易相手国となったのはイギリスでした。当時のイギリスは産業革命を経て、機械による大量生産が可能な工業国となっていたため、安価な綿織物や毛織物を日本へ大量に輸出しました。一方で、日本からの輸出品は生糸や茶が中心でした。
問2	答え 3 政権を天皇に返上する大政奉還を行った。	徳川慶喜は、倒幕派による武力攻撃の口実をなくすため、自ら政権を朝廷に返上しました。これにより武家政治の時代が終わり、新政府への移行が始まりましたが、徳川家は依然として政治的影響力を残そうと考えていました。
問3	答え 3 長州藩で松下村塾を開き、後の明治維新で活躍する多くの人材を育てたが、安政の大獄で捕らえられて処分された。	吉田松陰は長州藩の私塾である松下村塾で指導を行い、幕末から明治時代にかけて活躍する志士を多数育成しました。しかし、井伊直弼による安政の大獄で捕らえられ処刑されました。大坂で挙兵したのは大塩平八郎、異国船打払令を批判して処分されたのは高野長英ら、薩長同盟を仲介したのは坂本龍馬です。
問4	答え 2 四国連合艦隊下関砲撃事件	長州藩は攘夷（外国勢力を排除すること）を断行しましたが、列強の圧倒的な軍勢力を前に敗北しました。この経験により、長州藩は武力による攘夷が不可能であることを悟り、秘密裏に軍備を近代化させ、後の倒幕運動へと方針を転換する重要な転換点となりました。
問5	答え 2 桜田門外の変	大老の井伊直弼は、独断での条約締結や反対勢力の処罰といった強硬な政治を行いました。これに激憤した水戸藩の元藩士らによって暗殺されました。この事件により、幕府の権威は大きく失墜し、幕末の動乱が加速することとなりました。
問6	答え 1 漂流民の保護という目的を持った非武装の外国船を攻撃した幕府の対応を、世界の情勢を知る蘭学者が批判した。	1830年代の日本では、モリソン号事件を通じて、幕府の無差別な「異国船打払令」の実行が国際的なトラブルを招く危険性が露呈しました。高野長英や渡辺華山などの蘭学者は、海外情勢の知識に基づき、人道的な目的を兼ねた船まで攻撃する幕府の姿勢を批判しましたが、保守的な幕府はこれを体制への反逆とみなして処罰しました。これが、言論弾圧事件である蛭社の獄です。
問7	答え 1 大老・井伊直弼	幕末の動乱期に幕府の最高職である大老に就任した井伊直弼は、反対意見を押し切り、孝明天皇の許しを得ないままアメリカとの間に日米修好通商条約を締結しました。この独断での条約調印や、將軍の跡継ぎ問題で対立した勢力を抑え込むために行われたのが安政の大獄です。この厳しい弾圧は、のちに彼自身が桜田門外の変で暗殺される大きな要因となりました。
問8	答え 3 アヘン	イギリスは自国の赤字を解消するため、植民地であるインドで「アヘン」を栽培させ、これを清へ輸出しました。アヘンの代金として清から銀を回収し、その銀を茶の買い付け代金に充てることで、イギリスは貿易収支を好転させようとした。
問9	答え 1 石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されたことで、天候や自然環境に左右されない大規模な工業生産や交通機関の発達が可能になった。	産業革命の最大の特徴は、人力や水力・風力といった自然の力から、蒸気機関という機械的な力へと動力源が転換した点にあります。これにより、工場での大量生産や蒸気船・蒸気機関車による高速・大量輸送が実現しました。ペリーが来航した際、日本側が作成した記録には「風を待たずに進む巨大な船」への驚きが記されており、この技術的な背景が日本に開国を決断させる一つの要因となりました。
問10	答え 4 桜田門外の変	幕府が朝廷の許可を得ずに開港を断行したことや、安政の大獄によって反対勢力を厳しく処罰したことへの反発が背景にあります。この事件により、幕府の権威は決定的に失墜し、倒幕の機運が高まるきっかけとなりました。
問11	答え 1 東京と横浜の間	ペリーが幕府に贈ったモールス式電信機などの欧米の工業製品は、日本の近代化に影響を与えました。明治維新後の1869年に、日本で初めての公用電信線が東京と横浜の間で開通しました。
問12	答え 3 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。	不平等とされる最大の要因の一つは、領事裁判権（治外法権）の承認です。これにより、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法で裁くことができず、主権が侵害されている状態でした。もう一つの大きな要因は、関税自主権の欠如であり、日本が自国の産業を保護するために輸入品の税率を自由に決めることができなかった点が挙げられます。
問13	答え 1 下田と箱館の2港を開き、アメリカ船に薪水や食料を供給することを取り決めた。	1854年の日米和親条約は、アメリカ側の主目的が捕鯨船の中継基地の確保であったため、燃料や食料の補給を目的とした開港が行われました。選択肢にある「貿易の開始」や「領事裁判権の承認」「関税自主権の欠如」といった内容は、4年後の1858年に結ばれた日米修好通商条約の特徴であり、両者を区別することが重要です。